

令和5年度 学校評価 前・後期結果比較

4:良くてきた(そう思う)3:できた(だいたいそう思う)2:あまりできなかった(あまり思わない)1:できなかった(そう思わない)

↓青色塗りつぶし⇒平均前期:3.19(後期:3.17)よりも下回っているもの、黄色塗りつぶし⇒平均を上回っているもの

分類		前期	後期	比較増減	改善策(後期)	学校関係者評価
		平均	平均			
教育目標の具現化	(1)道徳教育やここにこ班活動等を通して、「思いやりの子」(思いやりと優しさを抱き、互いに高め合う心)を育てる取組をしている。	3.14	3.07	↓		概ね適正である ・6月に比べ、「もう少しできるのではないかと」と意識を高くもっているからこそ、下がることもある
	(2)授業や学級活動等を通して、「よく考える子」(自分で考え、責任をもって行動し、自分の道を切り拓く力)を育てる取組をしている。	3.14	3.07	↓		
	(3)体育の授業を中心に、「元気な子」を育てる取組をしている。	3.50	3.60	↑		
	(4)学校教育目標と学年目標の関連を図り、学年経営・学級経営の工夫・改善を行っている。	3.21	3.13	↓		
	(5)学年目標実現のため、学年教師間で共通理解を深め、達成のための工夫や取組をしている。	3.36	3.00	↓		
組織運営	(6)自己有用感をもてる学年・学級経営のために、具体的な工夫や取組をしている。	3.07	3.13	↑		概ね適正である ・教員は、様々なことに対して敏感で、とても大変だと感じる。意識が高いことがわかる。
	(7)自らの分掌内容を把握し、前年度の課題解決等、具体的な取組をしている。	3.21	3.07	↓	3学期に実践予定	
	(8)児童とともに清掃活動や、教室廊下の掲示教育等、学校や教室等の環境美化を行っている。	3.43	3.40	↓		
	(9)児童のけがや病気について、養護教諭や保護者との連携を適切に行っている。	3.64	3.60	↓		
	(10)いじめ、不登校、問題行動の早期発見に努め、学校組織、保護者、関係機関と連携し、対応している。	3.50	3.33	↓		
(11)交通事故防止、不審者による事故防止等、安全指導を徹底している。	3.21	3.20	↓	児童生徒に良い子のチャイムで帰るという徹底が足りないと感じます。良い子の放送が流れたら、校庭で遊んでいる児童への声掛け・働きかけが必要と思います。声掛けをしていれば、万が一事件等が起こっても「毎日声掛けをしていました」と言えると思いますが、捉え方によっては「黙認している」と捉えられる恐れがあると思います。		
学習指導	(12)授業において、基礎学力定着のために習熟や復習の場面を取り入れている。	3.14	2.87	↓	クラスによってばらつきがあるのではないかと思います。例えば算数では、昨日の問題を1問解き、今日の問題では、どのように活用(発展)して解決できるのだろうと考えることも必要ではないかと思えます。ICT端末を使用したり、家庭学習として取りんだりして、1、2学期の内容が定着するようにする。国語では、授業開始に漢字ドリルの音読や熟語の書き取りを取り入れている。算数では、毎時間練習問題に取り組みるように、時間配分を考えるようにしていく。	概ね適正である ・学校課題研究で、研究をしていると学力調査等で学力の伸びがあるが、その研究が終わると、伸び悩んでしまう。これではせっかくの研究が活かされていないのではないか。 ⇒その研究に携わった教員が、異動でいなくなり、徐々に薄れていってしまう。それでは研究の成果が根付いていない。研究をより重点化し、ずっと残っていくように研究していくことで、学力の向上にもつながるであろう。
	(13)授業において、ALTを効果的に活用し、児童に「話すこと」を中心としたコミュニケーションを図ることを楽しむ態度を身に付けさせている。	3.14	3.07	↓	指導計画上、会話のやり取りよりも、英語に慣れ親しむことを重視しているため、英語を口ずさむことで、3年時からの「話すこと」につながるように指導する。	
	(14)「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行っている。	3.14	3.13	↓		
	(15)文字や線を丁寧に書く指導を行っている。	3.21	3.07	↓	テスト等で名前を書くときに声かけを行う。	
	(16)児童に1人1台タブレットを活用させた授業を展開している。	2.79	2.93	↑	児童のタブレット端末の使い方を徹底し、家庭にも協力をさせるようにするともっと良くなると思います。ICT端末を使用していません。教材の見直しを図っていきいたいと思う。簡単な調べ学習や、空き時間に学びポケットを活用するなど、ICT端末に慣れるようにしている。教師自身の研鑽が求められる。	
	(17)毎時間のねらいを明確にし、効果的な発問・板書を工夫した授業を行っている。	3.07	3.13	↑		
	(18)児童の実態を把握し、一人一人を大切に、個に応じた授業を工夫している。	3.29	3.07	↓	算数の時間を学年で合わせているので、もっと学年合同でクラスを分けて授業をしたい(3学期は実践する予定)	
	(19)発表の仕方、聞き方、グループの話し合いの仕方など、学習のルールを身に付ける指導に取り組んでいる。	3.21	3.20	↓		
	(20)特別の教科「道徳」は、年間指導計画に基づき、計画的に実施している。	3.14	3.00	↓	教務のため、道徳の授業はもっていないため毎月、年間指導計画に目を通しながら、計画的に指導をすることができるよう意識する。	
	(21)児童が主体的に活動できるように、係活動、委員会活動、クラブ活動を工夫している。	3.07	3.07	→		
	(22)児童が自ら進んで挨拶するよう、指導している。	3.00	3.07	↑	自分から率先して挨拶をする。	

規律・体力	(23) 授業の開始時刻、授業の前の学習準備ができるよう、指導している。	3.50	3.40	↓		概ね適正である ・時間を意識した指導をするためには、身近なところに時計があることが大切。日々の指導に加え、教室の時計の位置や廊下への設置等を工夫することで、改善されるのではないかと。
	(24) ていねいな言葉遣い、相手の気持ちを考えた優しい言葉について、指導している。	3.21	3.33	↑		
	(25) 大勢の中で、話をしっかり聞く児童を育てている。	3.07	3.20	↑		
働き方	(26) 児童の体力の結果を分析して課題を明確にし、課題解決に向けた取組を行っている。	2.86	3.13	↑		概ね適正である ・この評価全体を通してでも、あるが、評価の項目が同じなのであれば、この評価を昨年度のものと比較すべきではないかと。そうすることで、次年度の学校経営方針等も決まってくるのではないかと。
	(27) 時間外在校時間(月45時間以内)を守ることができている。(繁忙期を除く)	2.71	2.87	↑	<p>現行だと、8時15分に出勤し16時45分に退勤したとしてもプラスマイナス0。その為、学期末や長期休業中の働き方を変え、早く仕事が終われば、16時45分を待たず退勤できるシステムを作れば、増えた分減らすこともできるので、県教委及び市教委に対してこのような働き方を提案します。</p> <p>見通しをもって仕事を進められるようにしていきたいです。</p> <p>優先順位をつける。</p> <p>早めに取りかかる。</p> <p>集中して、やるべきことを考えて取り組みたいと思います。</p> <p>制限時間を決めて、その時間までに終わるように意識していく。</p> <p>仕事内容に優先順位を付けて、計画的な仕事の消化が求められる。</p>	
	(28) 働き方改革に対して、意見を交わしたり、実践に移したりすることができる職場である。	3.36	3.40	↑		
	(29) 職場環境に対して、ワークライフバランスが取れていて、働きやすいと感じている。	3.21	3.33	↑	人数が少ないので仕方がないと思いますが、複数の分掌を掛け持つ場合は、繁忙期が重ならないなどの考慮もしていただけると、より働きやすいように思います。	
合計値		92.57	91.87	↓		
平均値		3.19	3.17	↓		

3.18